

開催日：令和3年3月3日（水）

場 所：三重県立美術館 会議室1、2

令和2年度第2回三重県立美術館協議会 開催結果

令和2年度事業進捗状況について

- ・今年度中止になった宇田萩郵展、いわさきちひろ展は、今後、2年先、3年先でも構わないので開催を考えていただければと思う。
- ・情報発信する際に、来館者が展示作品を撮影してSNSにあげていくと、大きな宣伝効果が得られると思うので、著作権の問題で難しいこともあるかと思うが、できればそういう形で相乗効果を狙っていただきたい。
- ・四日市高校との連携事業のような取組を通して、生徒が美術館を身近に感じられることは大事なことである。美術館にとっても次世代の育成という部分が大事な点になってくると思うので、出張授業を含めていろいろな教育活動をお願いしたい。
- ・出張授業や団体鑑賞の受け入れについては、これまで来てもらっていないところにも呼び掛けて、質問を受け付ける体制を整えていく必要があると思う。
- ・赤ちゃんのためのオンライン鑑賞会の取組について、参考にさせていただきたい。事業を実施して、詳しい報告や新しい情報があれば、ぜひ教えていただきたい。
- ・小さな子どもを連れてお客さまが入りやすいような配慮をお願いしたい。

令和3年度事業計画について

- ・小・中・高校生のなかでは、アニメが外せないジャンルである。子どもたちがすごく興味があることを文化施設に持ってくることで、子どもたちが文化に近づいてくるということもあると思う。
- ・三重ゆかりの作家についての調査研究では、近現代だけでなく近世にも踏み込んで調査いただきたい。
- ・音声ガイドの準備を進めているのであれば、スマートフォンのイヤホンを持ってきてくださいという案内と併せて、イヤホンを貸し出せるような整備もしていただけるとよいと思う。
- ・美術館に行けなくても、美術館の楽しさ、おもしろさが伝わるようなデジタルコンテンツのインターネット配信をお願いしたい。それが、来館者増にもつながると思う。